

E-14 住まいの清浄に関する研究（オウギ）

ライオン家研 ○鈴木勲 久保田隆之 田中良平 藤井徹也

目的 住まいの清浄に関する研究の一環として、電気掃除機で捕集した家庭の汚れについて、その内容の調査を行ない、その一部をオウギ25回日本家政学会に報告したが引き続き年間を通じて調査した結果を報告する。

方法 昭和48年3月から49年2月に渡り、都区内及びその近郊に在住する勤労者の9世帯を対象として、毎月末に収集した電気掃除機中の塵芥を分別して塵芥組成を調べ、更に熱で駆逐捕集した塵芥中のダニを顕微鏡で観察した。

結果 塵芥の組成は年間を通し、砂・微細塵約50%、綿ぼこり約20%、食品約4%、紙片、糸・布、毛髪、金属、木片、ワラが1~3%であるが、綿ぼこりの占める割合は夏よりも冬の方が多い。

ダニの発生は気候の温暖化とともに増加し、8月をピークに気候の寒冷化とともに減少するが、5~10月には全世帯にダニの存在を認めた。

ダニの種類は、春から秋にかけてはアシブトコナダニであり、秋の終り頃よりアシブトコナダニを捕食するヨソツメダニを検出した。

ダニの発生率は、塵芥量、気温、湿度等と密接な関係が認められた。

従って、春から夏にかけてのダニの繁殖期には、(1)風通しを良くする、(2)ダニの餌となる食品くずを落さない、(3)念入りの掃除を行なう、等の注意が必要であろう。